

明日のとりでを
考える



ひ
こ
ば
え

「蘗」とは伐(き)った草木の根株から出た芽のことです。草木の根元から力強く萌え出る姿に、市民の皆さんと共に築いていく「明日のとりで」への思いを託しました。

| 目 次 | |
|--------------|----|
| 市全体がギャラリーのまち | P2 |
| 東京芸術大学があるまち | P4 |
| アート活動を創造するまち | P5 |
| 市民の心を豊かにするまち | P6 |
| アート活動を応援するまち | P7 |
| 音楽×取手 | P8 |

発行/取手市 編集/魅力とりで発信課
〒302-8585 茨城県取手市寺田5139
TEL 0297-74-2141 内線1193 FAX 73-5995
ホームページ <https://www.city.toride.ibaraki.jp/>
e-mail miryoku@city.toride.ibaraki.jp



どこにでも「アート」があるまち

市は東京芸術大学取手校地が開設された平成3年以降、アートを身近に感じられるまちづくりを進めてきました。写真は駅ビルにあるとりでアートギャラリーで芸術作品に親しむ学生です。どこにでもアートがあるまち取手ならではの、特色ある取り組みを紹介します。



市全体がギャラリーのまち



アートのまち取手ではいつでもまちなかで、壁画をはじめとするさまざまなアート作品を見ることができます。さらに、誰でもアートを体験できる場も設けています。東京芸術大学取手校地が開設されたことをきっかけに、市と東京芸術大学で交流が生まれ、壁画によるまちづくりなどを進めてきました。市全体がギャラリーのまちの魅力を紹介します。

■ 壁画

▶ 幅が 100 m を超える巨大な作品も

壁画は、そのスケールから見る人に大きなインパクトを与えます。また、日常的にアートを感じられることも特徴の一つです。壁画を描くことで落書きや張り紙がなくなるなど、環境改善や防犯にも大きな役割を担っています。

◎ 8 月末現在、市内 16 カ所に描かれています。



取手駅西口線路擁壁

▶ 新たな壁画を制作中

10 月に市民会館正面玄関上、年度内に取手駅西口線路擁壁南側に新たな壁画が完成します。



市民会館の壁画制作の様子を動画で紹介



市民会館の壁画制作中

作品タイトル：調和する街、取手

「もっとも親しみやすい美術品はもっとも身近な場所にある」という思いのもとに、作者と子どもたちが話し合う中で生まれた作品。カワセミとフクロウを主なモチーフとして、夏の花火大会の思い出と合わせることで、取手のまちを表現しています。



市民会館の壁画完成予想図

■ ストリートアートステージ・リング

▶ 展示後に作品が変形・進化する不思議なアート

取手駅東口の歩道上にあるストリートアートステージに展示した、東京芸術大学制作の作品が最初の形です。展示が終わった16点を組み合わせて、二つのリングとして生まれ変わります。リングの完成後は市内の別の場所に展示します。

◎9月には新たに二つのリングが市役所敷地内に設置されます。



サイクルステーションとりで前



ストリートアートステージ・
リングの紹介動画



■ たいけん美じゅつ場 (VIVA)

▶ アートに出会いアートを体験できる駅前施設

たいけん美じゅつ場 (VIVA) は取手駅の駅ビル、アトレ取手4階にあります。駅ビルという身近な商業施設の中で気軽に作品を鑑賞したり、またアートを体験できたりと、自由に楽しめる文化交流施設です。市・東京芸術大学・東日本旅客鉄道株式会社・株式会社アトレの産官学連携で、駅を中心とした活力ある個性豊かな地域社会の創造と発展を目指しています。



たいけん美じゅつ場
(VIVA) 案内サイト



ネーミング&ロゴデザイン
日比野克彦氏



たいけん美じゅつ場には、東京芸術大学学生の作品を展示する東京藝大オープンアーカイブや、工作室(有料)があるほか、自由にくつろげるスペースがあります。年間を通して、参加型のさまざまなプログラムが行われています。

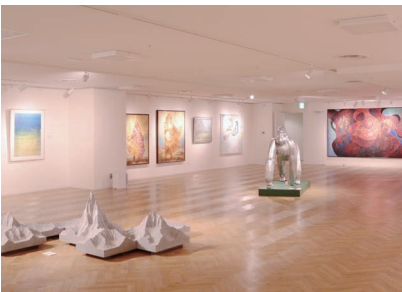
■ とりでアートギャラリー

▶ 工夫を凝らした展示に注目

とりでアートギャラリーはたいけん美じゅつ場 (VIVA) 内にある、市が運営する作品の発表・鑑賞、文化交流の場です。日常生活の延長で気軽にアートに出会えます。※取手・藤代駅の市民ギャラリーと合わせ、市内に3カ所のギャラリーがあります。



市ギャラリーの催し物



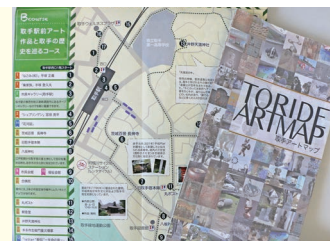
ここに元気なとりでっ子!! 作品展 来場者の声

あかほね あやな はると
赤羽彩那さん・陽斗くん親子
初めて来ましたが、駅ビルにあり
利用しやすいと思いました。子ども
の作品がギャラリーに展示され、
うれしいです。芸大の作品も見て
みたいです。



身近な作品を紹介「取手アートマップ」

市内にある作品をマップ上に示した「取手アートマップ」。地域別に作品を巡るモデルコースも紹介しています。市内を散策し、新たなまちの魅力を発見してください。



東京芸術大学があるまち

東京芸術大学が市内にあることから、市は東京芸術大学とさまざまな形で交流を図ってきました。市立小・中学校への東京芸術大学学生の派遣や、寄贈された取手市長賞受賞作品を展示するなど、皆さんが東京芸術大学を身近に感じられるような環境を整えています。

■ 小・中学校との交流

平成9年度から東京芸術大学学生を市立小・中学校に毎年複数回派遣しています。授業を通して児童・生徒が専門的な創作活動を体感できます。特色ある学校教育で、想像力と豊かな心の育成を目指します。



参加者の声

- ・ 授業とは違う専門的な知識や、技法を教えてもらえて良かったです。
- ・ 毎年の授業で段々と技能が向上しているのを実感します。



参加者の声

- ・ 楽器を専門的にやっている人に教わり、その楽器の理解が深まりました。
- ・ 芸大生の良い音を聴き、楽器本来の音を学ぶことができました。

■ 取手市長賞

取手市長賞は市民の芸術文化への関心を高めることを目的として創設されました。東京芸術大学卒業・修了作品展の優れた作品に贈られます。美術分野の受賞作品は市に寄贈され、公共施設や公園などに展示されます。皆さんに質の高いアートを身近なところで親しむ機会を提供しています。

令和元年度から音楽分野が加わりました。受賞者はふれあいコンサートを行い、上質な音楽を届けています。



美術分野…第23回受賞作品「*taobane warai kawasemi*」作者：國川裕美



音楽分野…第1回受賞者 後藤駿也 (声楽)



美術分野
取手市長賞受賞作品一覧



音楽分野
取手市長賞受賞者一覧

アート活動を創造するまち

平成 11 年度から始まった取手アートプロジェクト (TAP) は、市・東京芸術大学・市民が一体で進める芸術活動です。市内で活動する芸術家の支援と、市民が芸術家とともにアートに参加する仕組みを作り、取手市独自のアート活動を創造する取り組みを展開しています。



放課後アートの時間

放課後子どもクラブで芸術家が子どもたちと一緒に活動します。普段触れ合うことのない芸術家に絵やダンスなどを教わることで、子どもたちの表現力や想像力を引き出し、多様な価値観を育むきっかけとなります。芸術家には子どもたちとの交流で、新たな視点を取り入れることが期待されています。



となりのスタジオ

小規模特認校の山王小学校では、海外出身の芸術家が校内にスタジオを開設し、子どもたちと作品を作り交流しました。子どもたちは芸術家と一緒に、普段と違った物事の見方で授業を楽しみました。子どもたちの創造する力・表現する力を育むことを目指した取り組みです。



げい 藝大食堂

東京芸術大学取手校地にある「藝大食堂」は、学生だけでなく誰でも利用可能な学生食堂です。売り上げの一部が芸術家支援事業の費用に充てられます。若い芸術家や作品との触れ合いを通じて、芸術活動に参加できる場所を目指します。

※開館情報などはホームページでご確認ください。



たこ 大空凧プロジェクト

かつて高須で行われていた「大凧揚げ」の復活を目指し取り組んでいます。地元で採れるわらなどの材料を使い、紙すきなど芸術家の専門技術を取り入れながら、住民と芸術家と一緒に大凧を作り、大空に揚げます。

◎大凧揚げは令和 4 年 1 月を予定



取手アートプロジェクトの活動はホームページでチェック！



市民の心を豊かにするまち

市では皆さんのアート活動を支援するために、発表の場を設けています。個人の創作意欲と活動の向上を図るとともに、鑑賞する人の心豊かな生活につながるよう、市が行っている三つの作品展を紹介します。

■ 取手美術作家展(とりび)



毎年6月に取手美術作家協会会員の作家が作品を展示しています。取手市に拠点を置き、市内外で活躍する作家の芸術性の高い作品を鑑賞できます。



▶ おしゃべり鑑賞ツアー開催

参加者は、アートと人のつなぎ手「アートコミュニケータ」と作品を鑑賞します。話し合いを通して見るだけでなく、感じたことを参加者同士で共有します。

■ 取手市民美術展(市展)



洋画や写真など7部門の一般公募美術展です。皆さんの力作を展示する機会を提供し、創作意欲向上を図ります。

◎小・中学校の部も開催しています。



▶ 優れた作品を表彰

各部門ごとに審査の上、優れた作品を表彰しています。左の写真は令和2年度写真部門で市長賞を受賞した「朝陽の絶景」です。作者：桐生さよ子

■ とりで スクール・アートフェスティバル



市内にある高等学校全7校の特色を生かした合同芸術作品発表会。発表のほか、運営も高校生が担っています。自身の作品について説明するギャラリートークが見どころです。



▶ 高校生の生演奏も

オープニングセレモニーや最終日には、高校生による生演奏や合唱で会場を盛り上げます。

アート活動を応援するまち

新型コロナウイルス感染症拡大で、多くのアートイベントが中止や延期になり、芸術家の創作・発表の場や、市民がアートを楽しむ機会が減少しています。市は、芸術家支援の一環としてオンラインで活動を公開し、市民がアートを身近に楽しめる取り組みを行っています。

■ アート創作活動拠点オンライン公開事業「ART LIVES TORIDE」

市内で活動する芸術家・芸術団体の活動拠点をオンラインで公開しています。普段は訪れることができないアトリエの様子を、映像や写真・インタビューを通して紹介します。作品が生まれる場と、それを生み出す人を伝えます。



34組の芸術家の活動を紹介します。今後も追加予定

▶ 芸術家による芸術家の活動紹介

撮影や編集なども芸術家が行い、芸術家の視点で紹介しています。事業に関わる全ての芸術家に、経済的な支援を行う独自の取り組みです。



大垣美穂子さん

取手市は創作活動をするのにとっても環境が整っていると思います。このサイトを見た人から反響がありました。さらに多くの方に活動を見てもらえるとうれしいです。

■ とりでオンライン美術館

コロナ禍でも安心してアート作品を楽しめるよう、4月に市ホームページで開設しました。東京芸術大学の取手市長賞受賞作品など、市で所蔵する作品を中心に約100点を公開しています。



掲載作品は今後も随時追加予定



「天使」(彫刻 1) 第1回取手市長賞
作者：古屋一弘



「後奏」(洋画 1) 第29回取手市長賞
作者：常行哲弘

ウェブ会議用バーチャル背景を活用してください

市にゆかりのある芸術家の作品や、市内の写真などをバーチャル背景として活用できます。市ホームページで取得できます。



アーティスト編



「釣り桟橋午前10時」
作者：しのみやよしとし



「輪唱の〇」
作者：つちやあゆみ

音楽×取手

音楽もアートの一つであり、市は音楽によるまちづくりも推進しています。質の高い音楽を気軽に聴くことができるイベントの一部を紹介します。

取手音楽の日「取手 JAZZ FESTIVAL」

平成 23 年度から始まった取手 JAZZ FESTIVAL では、プロ・アマチュア・東京芸術大学学生などのジャズバンド演奏を楽しめます。多くの方が来場する人気の高いイベントです。ジャズを通じた交流や、まちの活性化につながっています。



東京芸術大学「ふれあいコンサート」

ふれあいコンサートは、東京芸術大学学生による本格的な演奏を鑑賞できるクラシックコンサートです。公民館など身近な場所で、気軽に上質な演奏を楽しむことができます。

令和 2 年度から、取手市長賞の音楽分野受賞者も参加しています。

◎ 2 年度は無観客で開催し、その様子を市ホームページで公開しています。

